

# 北海道苫前町の概要

## 1：苫前町の概況

苫前町は北海道の北西部の日本海海岸に位置、海岸地帯（海岸17.3km）は平地、東部奥地一帯は天塩山脈連峰の山岳地帯で町の総面積の85%を占める豊かな森林地帯となっている。また、河川は天塩山系を水源とした古丹別川とその2本の支流が日本海に注ぎ、町域は454.53km<sup>2</sup>となっている。



### ①自然

気候は、海洋性気候を示し冬季は強い北西の季節風が吹き、降雪は多いが日本海を流れる対馬暖流の影響により北海道内陸部より比較的温暖で融雪は早い方である。春から夏にかけて気温は高め、秋は多雨の傾向にあり、山すそから海岸にかけては広大な沃野が広がっている。

### ②社会・経済

産業構造は第一次産業が主な産業で、特に農業は水稻・畑作の複合経営や乳牛を主とした酪農が主体である。漁業は沿岸漁業と増養殖漁業を主としているが、近年資源管理型漁業への転換が図られている。

日常生活圏は基幹道路の整備や自動車の普及により、通学や医療、買い物等は近隣へ広域化している。

### ③過疎の状況

平成22年国勢調査による総人口は3,656人で、昭和35年の10,898人と比較すると66.5%減少し、若年者比率（15～29歳）は10.8%で人口に占める割合が減少しているが、高齢者比率（65歳以上）は36.6%で大きく増加している。

過疎化の主な要因は、第一次産業や第三次産業の後継者不足、商工業の低迷により雇用の場となる地場産業が少なく、高卒者の流出が要因となっている。

これまでの過疎地域対策は、農林水産業や商工業など産業基盤の振興策を図り、下水道整備などの生活環境施設等の整備に努めるほか、通年して吹く風を利用した風力発電施設の誘致や建設などを進め、再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる。

引き続き基幹産業の振興をはじめ、生活環境整備や地域の特色ある資源、優位性を活かした魅力ある産業づくりなど自立への振興策の展開が必要である。



牧場内にある風車

## 北海道苫前町の産業振興

### ○農業

本町農業は産業として住民生活に根付き、自然環境の保全、地域社会の維持などの役割を担っている。しかし農産物価格の低迷、担い手の高齢化、後継者不足などにより農業就業者は減少が続き、今後農業経営基盤となる農地利用調整が耕作条件不利地域等を中心に困難が想定される。

農業が魅力ある産業として定着するには、農業経営基盤の安定化や若い担い手の育成及び新規就農等による農業者の確保が課題となっている。

一方、食の安全・安心を求める消費者からは、地産地消、環境に配慮した農業などへの関心が高まっており、質が高い農産物、環境に優しい農業が求められていることから、本町ではクリーン農業を基本とした栽培技術の向上と貯蔵・集出荷などの流通体系の整備に取り組んでいる。



農作業の省力化を推進

### 苫前町 山の恵みカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米	ななつぼし・ほしのゆめ・おぼろづき・ゆめぴりか											
メロン							赤肉・青肉					
ミニトマト						キャロル10						
かぼちゃ							こふき・くりあじ					
とうもろこし							ゆめのコーン・マーガレット83・味来					



撰果システムにより省力化を推進



雪冷熱を活用した大豆の定温貯蔵施設

## ○漁業

本町水産業は沿岸漁業を主にカレイ・タコ・コンブ・ウニ、更には沖合漁業のエビ、海面養殖業のホタテなど四季折々の漁獲がある。今後も漁場環境の保全や水産資源の適正管理と資源の維持・増大に努め、新たな取り組みとしてナマコ漁を安定的にする調査・研究事業を進めるなど漁業振興を図っていく必要がある。

漁業就業者数は減少、高齢化が進行しているため、漁労作業の効率化や生産価格の向上などにより、漁業を魅力ある職種とし担い手育成をはじめ、新規着業者や繁忙期の労働力確保に努め、漁業協同組合の経営基盤の強化を図っていく必要がある。

水産加工業は原料となるタコやニシンの価格高騰や海外からの低価格製品の流入など厳しさを増す中、原料安定確保や消費者ニーズに対応した製品開発に努めているほか、食品衛生管理対策の充実が求められている。

苫前漁港はマリンビジョンモデル地域の指定を受け整備が計画的に進められ、安全で使いやすい港づくりとして早期完成が望まれている。



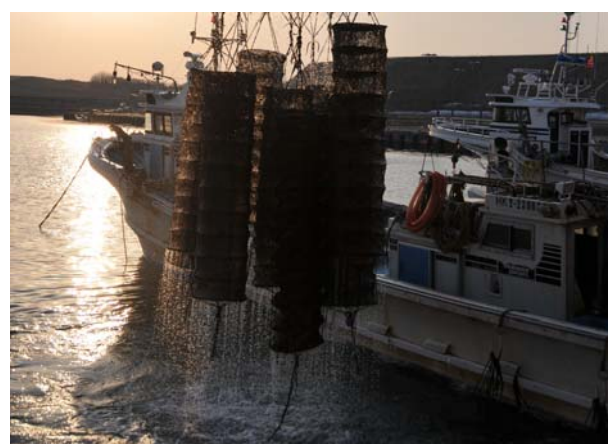
雪氷熱による鮮度保持施設

## 苫前町 山の恵みカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エビ	甘エビ・ボタンエビ											
カレイ	真ガレイ・クロガシラ・ナメタガレイ・スナガレイ・赤ガレイ・宗八ガレイ											
ホタテ	ホタテ成貝・半成貝・稚貝											
タコ	ミズダコ											
ナマコ							ナマコ					
カジカ	カジカ										カジカ	



整備された屋根付き岸壁



韓国輸出が好調なホタテ養殖

# 北海道苫前町での様々な施策

## ○本町で進める様々な施策

本町では住みよいまちづくりとして、今まで住んでこられた住民が住み続けていただくため、そして本町に転入された方々が住みよいまちと感じて住み続けていただくために、「結婚・妊娠・出産」「子育て」「住宅支援」「高齢者」「起業支援」の大きく5つに分けて施策を展開している。

例えば、「妊娠・出産」の際に本町では診療所しかなく、子供を産むには近隣の市などへ行くことが必要となるため、経済的負担軽減と妊産婦の健康の向上のため、健康診査や出産に係る通院交通費や医療機関のある現地に要する宿泊費を助成する「出産支援費助成事業」、また「子育て」では子育てに伴う経済的負担軽減のために「町内保育所の保育料軽減措置」や「高校生までの医療費無料化」、さらに「地元商業高等学校通学者への支援」として「学校諸経費・入学支度金の補助」など子育てしやすい環境づくりを進めている。

「高齢者」でも公共交通が不便な本町の移動のための利便性向上のために町内のタクシー会社を町内どこでも400円で利用できる(上限あり)

「にこにこタクシー運行事業」や、高齢者等の健康増進や引きこもりの解消を目的に町が指定する宿泊施設を10月～3月まで利用することができる宿泊助成券(5千円)を交付する「いやしふれあい助成事業」など、高齢者も安心して本町に住んでいただけるような施策も実施している。

## 苫前町で進めている様々な施策の一例

### あなたの新生活 応援します！結婚・妊娠・出産編

**結婚祝い金交付事業** 20万円交付

未婚者の結婚奨励と若者の定住促進等を推進するため、結婚した方へ祝い金を交付。

結婚サポート係 ☎0164-64-2212

**不妊治療等助成事業** 治療費助成

不妊症・不育症で悩む夫婦の経済的負担軽減のため、治療費の一部を助成。(治療の内容により助成額が異なります)

けんこう係 ☎0164-64-2215

**妊婦の健診・産後ケアの費用負担** 健診・産後ケアの受診券発行

妊娠された方の健康保持と経済的負担を軽減するため、妊婦一般健康診査14回分と産後ケア検査6回分の受診券を交付。

けんこう係 ☎0164-64-2215

**出産支援費助成事業** 交通費・宿泊費助成

妊産婦等への経済的負担の軽減と妊産婦の健康の向上のため、定期健康診査及び出産に係る通院交通費、医療機関のある現地に要する宿泊費を助成。

おもてなし係 ☎0164-64-2213

**出産祝い金交付事業** 20～100万円助成

子育てに伴う経済的負担軽減と出産による少子化対策を推進するため、出産した方に対して祝い金を交付。

おもてなし係 ☎0164-64-2213



苫前町長より出産されたご夫婦に出産祝金を贈呈

上記事業には申請手続きが必要なものもあります。各事業の担当へ気軽にご確認ください。

### あなたの子育て 支えます！子育て編

**1歳6ヶ月・3歳児健康診査** 無料で受診できます

お子様の成長と心身の健康状態を確認し健やかな発育、発達を促すため、身体計測、歯科相談、医師による診察、保育相談を無料で受診が可能。

けんこう係 ☎0164-64-2215

**各種予防接種** 無料で接種できます

予防接種法に基づいたが実施する予防接種(四種混合、二種混合、風しん麻しん混合、日本脳炎、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん、水痘)を無料で接種可能。

けんこう係 ☎0164-64-2215

**育児支援ヘルパー派遣事業** ヘルパーの派遣

子育ての負担軽減と母子・福祉の増進のため、家事または育児が困難な家庭に対して育児支援ヘルパーを派遣。(住民税課税状況により費用負担あり)

けんこう係 ☎0164-64-2215

**保育料の軽減** 保育料の減額

子育てに伴う経済的負担軽減のため、若年保育費・吉丹別保育所の保育料を減額。

住民係 ☎0164-64-2213

**高校生までの医療費助成** 医療費の助成

子育てに伴う経済的負担の軽減のため、高校生までの診療・入院費(保険適用のみ)と薬代(処方されたもの)を助成。

住民係 ☎0164-64-2213

**通学定期運賃の助成** 通学定期代の助成

生活路線バスを利用する通学者の通学費用の負担軽減のため、町外の高校に通学する際の定期運賃の一部を助成。(定期運賃の20% 苫前商業高校は別掲)

地方創生・人口対策係 ☎0164-64-2212

**苫前商業高等学校通学者への支援編**

**入学支度金の補助** 新入学生1名につき5万円補助

苫前商業高等学校へ入学する際の準備に必要な費用として、新入学生1名につき支度金5万円を補助。

学校教育係 ☎0164-64-2384

**通学生徒定期運賃の補助** 通学定期代が無料

生活路線バスを利用して苫前商業高等学校へ通学する生徒の通学定期の実費費用の全額を補助。(通学定期運賃の助成の残り80%を助成)

学校教育係 ☎0164-64-2384

**資格認定試験受験料の補助** 1級認定合格者受験料全額補助

公益財団法人全国商業高等学校協会が実施する8種類の1級検定の合格者に対し、受験料全額を補助。

学校教育係 ☎0164-64-2384

**国際交流事業への派遣** 国際交流費用の一部を補助

苫前商業高等学校が実施している英語圏への国際交流事業に係る旅費、その他旅費・滞在費用の実費費用を補助。(一部自己負担あり) 毎年2名程度派遣

学校教育係 ☎0164-64-2384